

立科町ってどんな町？⑫

立科小学校との交流

長野大学企業情報学部教授 前川道博先生
長野大学前川ゼミ学生

実施日：令和5年1月16日（月）



立科小学校の5・6年生を対象に、クイズ形式で発表会をおこなった。これまで「立科町ってどんな町？」をテーマに計11回で探究してきた内容を、グループ・個人で発表した。出題内容は「白樺高原」「蓼科第二牧場」「鳴石」「権現の湯」「茂田井宿」等で、生徒がそれぞれ考えたクイズを出題し、小学生に答えてもらった。最初はお互い緊張した雰囲気だったが、次第に打ち解けた様子で和やかに会が進んだ。クイズを出題した際の、児童の元気に手を挙げる姿が印象的だった。また後半は児童から高校生への質問タイムも設けられ、「将来の夢は？」「高校で一番楽しいときは？」「青春してますか？」「立科町を見学した中でどこが一番良かったですか？」などなどの質問が出され、とても盛り上がった。発表の場を設けていただいたことで、人前で発表

することや他人に伝えることの難しさ、他人の興味関心をひく難しさなどを感じることができた。

この発表会のために長野大学前川道博教授とそのゼミ生に探究の方法から発表の方法まで全面的に教えていただいた。蓼科学は「地域」をテーマにしたものであり、この発表会を通して地域を学び、地域の方を講師に学び、そして地域の人々とともに学ぶ楽しさを教えていただいた。

【生徒の授業日誌より】

・クイズ大会は少し緊張したけど、しっかりと練習どおりにやることができたので良かったです。司会やアドリブもうまく言えて、進行ができました。とてもいい会になったので良かったなと思いました。

・小学校に行って自分たちで作ったクイズを発表しました。発表前は緊張しすぎてお腹が痛くなったけど、大学生や先生たちのおかげで緊張がほぐれたし、声も裏返ることなく発表できたので良かったです。でも問題文を1文、とばしてしまったのは残念でした。最初、小学生も緊張して反応が薄かったけど、最後の高校生への質問では積極的に質問してくれて楽しかったです。人前に立つことがこういう感じなのだとわかりました。小学校の先生にもほめてもらえたのも嬉しかったです。

・すごく緊張していて、上手に喋れるか心配でドキドキしていたけれど、自分なりにうまくできたかなと思います。反省点はメモの紙しか見ていなくて、小学生の顔が見られなかったことと、早口になってしまったことです。今まで大人数の前に立つことがなかったので、このようなことにも慣れていきたいと思いました。

・発表が最後のほうだったので、先に発表したみんなのクイズを小学生が楽しそうに答えているのを見て、自分のクイズも楽しんでもくれるのかな？と心配になってしまいました。いい経験でした。

・今日はとても貴重な体験ができて本当に良かったです。発表するのはとても緊張したけど、最後までやり切れました。自分の中で何かが変わったと思います。また同じような機会があったら積極的に参加したいです。